

1 中学校外国語科における教育課程実施上の課題と指導上の留意事項

(1) CAN-DO リストの作成

① CAN-DO リストとは

外国語表現の能力と外国語理解の能力について、生徒が身に付ける能力を「言語を用いて～することができる」の形で記述した一覧表である。生徒の実態に応じて各学校が作成する。

② CAN-DO リスト作成の意義

- ・生徒が身に付ける能力を各学校が明確化し、生徒の指導と評価の改善に活用する。
- ・4技能を総合的に育成し、外国語によるコミュニケーション能力、自らの考えを伝える能力や思考力、判断力、表現力を養う指導につなげる。
- ・教員が生徒と目標を共有することにより、言語習得に必要な自律的学習者として主体的に学習する態度を生徒が身に付ける。

③ CAN-DO リストの作成に当たって

- ・卒業時の学習到達目標を、「言語を用いて～することができる」という形で設定する。
- ・各学年終了時の学習到達目標を設定する。
- ・学年ごとの学習到達目標を達成するための各単元の目標、学習活動、評価方法等を計画する。

※詳細は、「各中・高等学校の外国語教育における『CAN-DO リスト』の形での学習到達目標設定のための手引き」参照 http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1332306.htm

(2) 小中連携、中高連携

① 小中連携、中高連携の意義

小学校では外国語活動が実施され、高等学校では授業は英語で行うことを基本とすることとなった。これにより、生徒の英語の学習過程が大きく変化した。生徒の学びを高めるためには、小・中・高の教員が各学校段階のねらいや授業内容等を正しく理解し、継続性と発展性のある指導を行うことが重要である。そのために、校種間の連携が必要である。

② 小中連携の実際

仙台市で行った小中連携推進協議会では、中学校区ごとに今後の小中連携の進め方について話し合った。検討された具体策の主なものは、次のとおりである。小中連携を行う目的は、そこから得たことを中学校での指導の充実に生かすことである。

- ・互いの授業参観と授業検討会
- ・互いの授業をビデオに撮影し、交換して視聴
- ・外国語に関する小中情報交換会の設定
- ・ALT を通じた小中の授業に関する情報交換
- ・中学校教員による小学校の出前授業
- ・小学生が中学校を訪問し、中学校の授業を体験

③ 中高連携に向けた英語による授業の実施

高等学校が「授業を英語で行うことを基本とする」とは、教師が英語を用いて授業を進めることのみならず、言語活動を充実させて生徒に英語を使用させる機会を増やすことを指している。生徒が高等学校での授業に対応していけるよう、中学校でも英語による授業の実施について努力が求められる。

2 中学校での授業改善に向けて

(1) 中学校の役割

中学校は外国語学習のスタート地点ではなくなった。小学校で培われたコミュニケーションへの積極的な態度を向上させつつ、4技能を総合的に育成してコミュニケーション能力の基礎

中学校 外国語

を養い、言語活動の更なる充実を図る高等学校へと接続していく「橋渡し」としての役割が求められている。中学校こそ変わらなければいけない。

(2) 増加した時数を生かした授業展開

年間 140 時間を各単元に配分し、各単元の指導の「層」を厚くすることが重要である。そのためには、言語材料に習熟するための言語活動と、自らの考えなどを伝えるための言語活動を充実させる必要がある。学習した言語材料を用いてコミュニケーション活動を行わせ、実際に活用させることを通して言語材料の定着を図るとともに、4 技能の総合的な育成を図る授業展開が求められる。そのためには、単元構想力が教師に求められる。

(3) 単元構想力

時数増に伴い教科書本文の量も増えたが、教科書を教えることに陥らないよう、指導内容の厳選が必要である。教科書本文の内容理解に時間が費やされ、中でも本文を日本語に訳すことに終始して、生徒が英語を用いる機会が失われることのないように注意が必要である。

各単元を通じて、生徒にどのような力を付けさせたいのかを明確にし、教師が創意工夫を凝らした言語活動を展開することが大切である。それに必要な単元構想力を高めるために、次の指導資料が提供されているので、積極的に活用していただきたい。

① 映像資料

文部科学省が作成し、各学校に配布した DVD である。タイトルは「中学校版 新学習指導要領に対応した外国語活動及び外国語科の授業実践事例映像資料」と「Broaden Your Horizons with English!」である。

※ 後者の DVD を活用した指導事例が仙台市教育センターHP 外国語科に掲載されている。

② ネット上の資料

- ・各中・高等学校の外国語教育における「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標設定のための手引き http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1332306.htm
- ・中学校外国語科における評価方法等の工夫のための参考資料
http://www.nier.go.jp/kaihatsu/hyouka/shou/11_sho_gaikatu.pdf
- ・言語活動の充実に関する指導事例集【中学校版】
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/gengo/1300873.htm
- ・特定の課題に関する調査（英語：「書くこと」）
http://www.nier.go.jp/kaihatsu/tokutei_eigo_2/
- ・英語教員のためのポータルサイト「えいごネット」
<http://www.eigo-net.jp/>
- ・仙台版スタンダード・カリキュラム「中学校外国語」
http://www.sendai-c.ed.jp/senkari/syou_dl/index.php?m=dp&n=syo_curriculum10
- ・仙台市教育センターHP・中学校外国語
http://www.sendai-c.ed.jp/kyouka_link/14gaikoku/index.html

3 その他

英語教員の英語力向上のため、各試験団体（実用英語技能検定 1 級及び準 1 級、ケンブリッジ英検、TOEFL(iBT)、TOEIC 公開テスト、GTEC CTE）による一定期間の特別受験制度が提供されている。別綴じ資料を参照の上、本制度を積極的に活用願いたい。